

CAD図面からダクト製作、さらに積算・見積連動 ～大幅な業務効率の向上を実現～



建築設備CAD「CADEWA Real+ダクト製作オプション」、積算・見積ソフト「見積CRAFT」

株式会社 タムラカントウ

所在地:千葉県千葉市

資本金:5,000万円

主な事業内容:

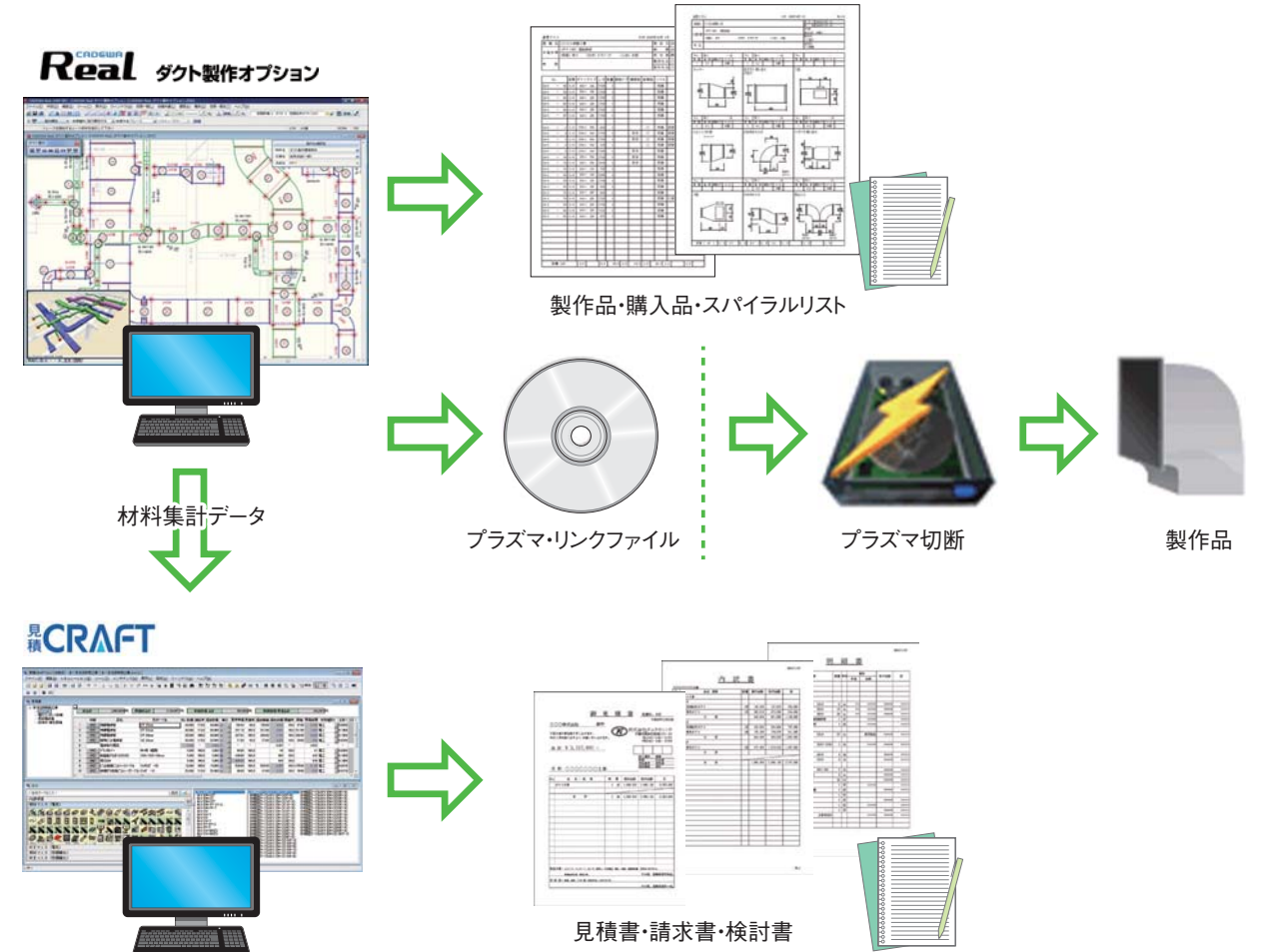
- ダクト工事の設計・施工・保守・維持・管理
- 熱絶縁工事の設計・施工・保守・維持・管理
- 空調衛生設備工事の施工
- ダクトの製造
- ダクトのクリーニング

<http://www.tamurakanto.co.jp/>

株式会社タムラカントウは、昭和42年の創業時より、関東を拠点にダクトの製造、販売、取り付けまでを一貫して行ってきた設備工事会社。

かつては図面から材料を手拾いして見積業務を行っていた。ダクト専門業者にとって、市販の見積ソフトではニーズを全て満たせない悩みがあったが、今回、CADと見積、いずれも市販パッケージソフトをカスタマイズすることで、念願の図面業務と見積業務の連動を実現した。

図)CAD 図面からダクト製作連動、CAD 図面から積算・見積連動



ソフト導入前の状況は?

図面業務については、以前から建築設備CAD「CADEWA Real+ダクト製作オプション」を使用しており、見積業務については、市販のパッケージソフトを使用していました。当時は、「図面(CAD)は図面(CAD)」「見積は見積」といった、CADと見積ソフトは連動してない状況でした。

「見積CRAFT」導入の背景は?

図面業務については、CAD図面からダクト製作までのCAD/CAM連携(ただし、特殊形状のダクトは手入力)で、業務効率の向上を図っていました。しかし、見積業務については、CAD図面から出力した集計表や手拾いした集計結果を市販の見積ソフトの一つ一つ手入力し、見積書を作成していました。

以前から弊社では、CADと見積ソフトとの連動によるさらなる業務効率の向上を目指すため、さまざまなソフトを検討していました。しかし、弊社のようなダクトの製造、販売、取り付けまでを一貫して行うダクト専門業者にとって、市販のパッケージソフトでは

限界がありました。

そのような状況の下、現在使用している建築設備CAD「CADEWA Real」を開発している株式会社 四電工の積算・見積ソフト「見積CRAFT」の検証に入りました。

「見積CRAFT」検証の結果は?

製品の第一印象は、「容易に作業できそう(マニュアルを読まずともイメージで大体は使えそう)」と感じました。

次に、数ある積算・見積ソフトに比べ、大幅に安価で、複数本必要な当社にとっては、かなり魅力的でした。その上、多機能で、標準機能に加え、次のような付加価値機能がありました。

◆複合単価変更

一般見積書(材工別)をワンタッチで複合見積書(材工共)に変換でき、また同時に代価表を自動で作成できること

◆シミュレーション

見積率・原価率の変更機能で、原価を把握しながら、提出金額を検討できること また、提出金額を直接入力でき、その増減分をどこで吸収するか選択できること

◆Excel変換

Excelデータの数量表や見積書を読み込み、作成した見積書は、Excel形式で出力できること

◆CAD-積算・見積連動

そして、建築設備CAD「CADEWA Real」と「見積CRAFT」が連動し、CAD図面から積算・見積連動できること

ただし、「見積CRAFT」についても市販の見積ソフトと同様、ダクト専門業者独特の情報を入力できない等、いくつかの問題がありました。そこで、四電工に相談したところ、「CADEWA Real+ダクト製作オプション」および「見積CRAFT」のカスタマイズを提案され、多少値は張りましたが、自社専用システムの構築に踏み切ったわけです。

以降、約1年間の開発期間を経て導入しました。

今回のカスタマイズにおいて、まだ対応できない特殊な部材が多少残りましたが、概ね狙い通り、良いものが完成したと自負しております。

自社専用システムの構築において苦労されたことは?

ダクト工事に特化するため、「CADEWA Real」「見積CRAFT」それぞれのマスタ構成を拡張し、それに15万にも上る膨大な項目(弊社仕様では、材質・工法・種類・サイズ等によって登録項目がとても多い)をとりまとめ、登録しました。完成後は、登録項目を一つ一つ目で確認、それは気の遠くなる大変な作業でした。



社屋

実際に使い始めていかがですか?

3日間の集合教育を経てすぐに、担当社員全員が使えるようになりました。最もうれしいことは、CADの材料集計データをそのまま活用できるので、拾い業務がほとんどなくなり、大変楽になったことです。また、図面を書く現場担当者も積算・見積連動を意識したせいか、図面品質も向上したと感じています。



ダクト製作工場内

今後について教えてください

今回の自社専用システムは、ダクトに特化しましたが、将来は、配管および保温にも力を入れたいと考えています。その際は、四電工さん、またよろしく願います。

